

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	2,901	医療提供体制施設整備交付金
合計	2,901	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

- ・ 医療機器の適正な利用を推進し、患者に対する安全を確保するため、平成16年度に創設された国庫補助金。

(2) 後年度の財政負担

- ・ 令和3年度までの2ヶ年の継続事業であり、今後の財政負担は発生しない。

事業評価調査（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

医療機関において、医療機器に係る評価・選定、保守管理、廃棄までの一貫した管理を行う医療機器管理室を整備することにより、医療機器の適正な利用を推進し、患者に対する安全対策に資する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

医療機関の計画に基づく施設整備に対する補助であるため、目標の設定ができない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

医療機器管理室の整備を実施する1病院に対し、補助金を交付予定。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

医療機器管理室の整備を実施する1病院について、令和2年度から3年度までの2ヵ年事業により整備が完了する予定。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	医療機器に係る評価・選定、保守管理、廃棄までの一貫した管理を行う医療機器管理室を整備することにより、医療機器の適正な利用を推進するものであり、事業の必要性が高いと言える。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	医療機器管理室の整備を計画している医療機関では、医療機器の適正な使用と安全対策の推進が図られる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	事業実施主体において競争入札により経費を節減しており、効率化が図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 整備した医療機器管理室において、医療機器が適正に管理、使用されているか、継続的に確認する必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後も医療機器管理室整備を行う病院、診療所については、引き続き取り組みを支援していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	